

～日韓アジア基金・日本のボランティアに参加して～

ABK(アジア文化会館)秋祭りブーススタッフ

佐々木 望

日韓アジア基金での3回目のボランティアになりますが、今回10月22日の第10回 ABK 秋祭り(以降 ABK フェスタ)に参加させて頂きました。

私が感想を書かせて頂くにあたりまして「1.ABK フェスタについて」、「2.当日に行ったこと」、「3.感想とまとめ」の構成とし、2については、補足として当日に行ったことにたいして私が感じたことを加えています。

1.ABK フェスタについて

1)ABK フェスタの目的

留学生寄宿舍兼日本語学校である ABK 所属の留学生と近隣の住民の懇親を計る。

2)日韓アジア基金の役割

事務所を無償で置かせて頂いている ABK への恩返し、貢献を行う。

また日韓アジア基金として、活動の広報・宣伝・募金を行う。

なお、当会の参加者は全員、団体のユニフォームである緑色のTシャツを着る。Tシャツの胸には「日韓アジア基金」、背中には「カンボジアの子どもに教育を」と白字で書かれている。



朝の打ち合わせ。皆、少し緊張しています。

当日に行ったこと

- 1)ブースの出展の準備（屋外実施予定が、雨天のため館内へと変更になる）
ブースの飾りつけ、広報用の看板を作成しセットする。
また、他のブースでも人手が必要な場合積極的に手伝う。



2)ブースの運営

韓国茶を無料で提供しながら、日韓アジア基金の活動の広報・宣伝・募金を行う。またパンフレットを配布する。韓国茶は次の4種類分を計6びん用意し、ジャム状のものを紙コップにお湯でとろかして提供する。

韓国茶の種類:ゆず、うめ、しょうが、なつめ

3)撤収

終了時間を確認後、ブースの撤去や片付けを行い、他に手伝えることがないか確認を行う。

4)その他

担当のシフト以外の時間帯に、会場内のブースを回り、来場者気分で参加する。

○活動結果

概要は次の通りです。

- 1.募金額 : 4,851 円 条件が悪い割には良く集まった。
- 2.パンフレット配布 : 目標の 50 部配布
- 3.韓国茶(6 瓶用意) : 5 瓶使用 (残ったのは 1 瓶と少し)

天候や屋内という、例年に比べ悪条件の割には良くできた方の内容のようでした。

・当日に行ったことにたいして私を感じたこと

雨天のために館内でのブースの出展になり、前年に比べると作業内容の多くはなくなっただけですが、時間的な余裕を感じることができたせいか、気持ちに多少は余裕を持って準備を終了し、来場者を迎えることができたと思います。

開始後、韓国茶を提供する際には、皆で役割を分担し合いながら、丁寧な対応を行っていたと思います。屋内の奥にある教室にブースを出展し、始めから教室の外側で呼びかけを行っていましたが、雨天の影響があり、来場者数は全体的に例年より少なかったようですが、さらに場所の影響もあってか、来場者が屋内の奥の方まで進んでいないような状況でした。それにたいしては、トレイにお茶を置いて、パンフレットと募金箱も携帯しながら外を回る対策をとりました。私もトレイを持って外を回り、少しは韓国茶の提供、募金を頂くことができました。この対策は効果があり、最後に結果を振り返った際に、今回のような条件でも一定の成果を得ることができていました。



休憩時間中に各ブースを訪問した際には、各国の手製の料理を購入し食べることができました。来場者数が少なめだったため、例年と違い、開始後、すぐに料理が売り切れることはありませんでした。飲み物を含め、4、5カ国の料理を頂きましたが、美味し

かったです。地下では歌手がギターを持ちながら歌を歌っている場面もあり、いろいろな催し物があったようでした。

終了時間になると、すみやかに片づけを行い、他に手伝えることがないか確認をしました。その後、ABK 主催の打ち上げがあり、料理や飲み物を頂き、留学生も交え、皆で交流をはかりながら、ABK フェスタを終了しました。

3.感想とまとめ

日韓アジア基金について、私にとっては韓国、アジアがキーワードになるかと思いません。

まず韓国については、私の出身は九州の福岡県であり、地理的位置関係だけでなく、文化や意識的に身近に感じる部分はあります。今年個人で韓国に旅行に行ったということもあります。

アジアについては、タイ王国のバンコク市内に10歳から15歳の間の5年間程住み、当時日本人学校に通っていたので、外国の文化や習慣に触れる機会があり、感覚的に共感や親しみがある部分がある方ではないかと思えます。

これらを踏まえながら、国際協力や支援という観点から、日韓アジア基金のボランティアとしてカンボジアやABKを中心に貢献したいという思いで参加させて頂きました。

休憩時間中には他の団体のお手伝いやブースを訪問し、その場でお話や手製の料理を頂いたり購入できたりで交流をはかれたことがあり楽しいものでした。来場者に限らず、皆で交流をはかりながら楽しんでいる印象でした。

幅広い年齢層におすすめてできる日韓アジア基金の活動ですが、特に日本の学生の方々にはボランティアのような、地道な活動を通じてでも、自身の将来や幸福感をみつける、または築くためのきっかけや手助けになればとは思っています。

私についても同様ですが現在、独身の身で進路や仕事は検討している状況で、例えば上述の内容に加え、家族や大切な人たちに貢献できる何かにつながればと考え、今後も活動に参加・貢献できればと思っています。

最後になりますが、今回は私のスケジュールの調整の都合上で当日の前日でのボランティア参加のご相談になりましたが、柔軟に対応して頂きました。また、当日の朝の電車遅延による集合時間に遅れての到着になりましたが、皆様に暖かく迎えて頂き、全体的な対応にも感謝しております。ありがとうございます。